

## ハンドソープの使用からできる環境保全

3年1組24番 藤田早奈恵 3年1組28番 増野優斗  
3年1組30番 水田さくら 3年4組6番 内田碧  
3年4組8番 大塚葉琉 3年5組34番 森本志乃

keyword:「RSPO認証マーク」「ハンドソープ」「P&C認証」「サプライチェーン認証」「ボルネオ島」

## 1. はじめに

私たちは、高校1年次にグローバル探究の授業でボルネオ島の現状について学んだ。近年、ボルネオ島では、アブラヤシプランテーションの拡大による熱帯雨林の減少と、それに伴うボルネオ島の生物多様性の喪失が問題となっている。人間の生活に欠かせないものとなったパーム油を生産するために、ボルネオ島の生物多様性は失われる一方である。私たちは、ボルネオ島は人間の生活に密接に関係していると知り、ボルネオ島から恩恵を受けるだけではいけないと強く感じた。そして、このグローバル探究での学びを、学ぶだけでは終わらせたくないと考えた。日本から遠く離れたボルネオ島の豊かな自然を守るために、私たちができることはなんだろうか。私たちは、一人一人の環境問題への意識向上が間接的にボルネオ島の環境保全に貢献できると考え、国際高校の生徒を対象に本研究を行った。

## 2. 序論

### ・目的

ボルネオ島の熱帯雨林は世界3大熱帯雨林の1つであり、その中で唯一、生物多様性ホットスポットとして認定されている。地球上の約5%の生物種が生息しており、植物は約15000種、動物は哺乳類だけでも約222種類存在すると言われている(引用文献3)。今もなお、新種の発見が続くなど、ボルネオ島の生物多様性は豊かである。しかし近年、アブラヤシプランテーションの更なる拡大による熱帯雨林の減少、環境破壊、生物多様性の喪失が問題となっている。これまでに、50%もの熱帯雨林が伐採され、生きる場所を失ったボルネオ島の動物は、絶滅の危機に瀕している(引用文献3)。このような現状でのボルネオ島の環境問題に対する解決策として、持続可能なパーム油生産がある。

RSPO(Roundtable on Sustainable Palm Oil=持続可能なパーム油のための円卓会議)とは、持続可能なパーム油の生産と利用を促進することを目的としたものを指す(引用文献1)。RSPOは、国際NPOとして2004年に設立された。RSPO認証とは、パーム油の適正な生産から販売までが持続可能であると認められることで得られる認証である。

RSPO認証マークが付与された製品を選択することは、消費者が環境保全に積極的に参加する方法のひとつであり、生徒たちが身近な環境問題について意識できる機会となる。

そこで本研究では、国際高校において、学校全体がRSPO認証のハンドソープを使用すること、そのことにより生徒一人ひとりの環境問題への意識向上を目指す。

### ・方法

RSPO認証のハンドソープを国際高校で使用できるよう、先生方にRSPO認証のハンドソープを使うことで期待される効果を説明し、学校に設置しているハンドソープを取り替える取り組みを行った。ハンドソープを変更した後、生徒を対象にアンケートを実施し、生徒の環境問題への意識の変化を調べた。

## 3. 本論

### ・結果

#### 1. 学校へのプレゼンテーション

私たちは、2022年12月17日に校長先生、教頭先生、事務長、養護教諭の先生に、学校のハンドソープをRSPO認証マークのついたものに取り替えたいというプレゼンテーションを行った。具体的な内容は、RSPO認証について、環境に配慮した製品づくりをしている企業があること、私たちが考える国際高校のハンドソープを取り替える意義について、である。ハンドソープを取り替える意義とは以下の通りである。

- ・ボルネオ島の環境問題の改善に貢献できる
- ・RSPO認証の普及を促進する
- ・生徒の環境問題への意識向上に繋がる
- ・生徒が日常的に環境問題について考えるきっかけとなる

また、国際高校では高校1年次にグローバル探究でボルネオ島について学ぶが、それを忘れない環境づくりをするべきであると主張した。さらに私たち自身が、国際高校独自の授業での学びを、ぜひ日々の生活に反映させたいという思いを伝えた。

学校の経費には限りがあるが、ハンドソープを変えることで生徒の環境問題への意識向上に繋がり、国際高校全体でボルネオ島の環境保全や動物保護に貢献できるという点において、先生方に理解していただくことができた。その結果、学校のハンドソープをRSPO認証のついていないものからRSPO認証のものに変えていただけることになった。

今回取り替える提案をしたハンドソープを販売しているSARAYA株式会社は、RSPO認証取得のみならず、パーム油由来の商品の収益の1%をボルネオ島の保全団体に寄付をしている。

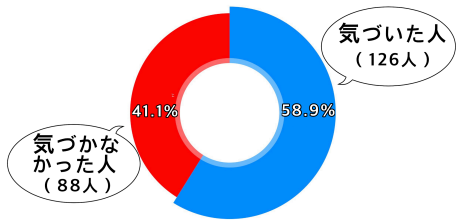
## 2. ハンドソープを取り替える取り組み

私たちは早速、学校のハンドソープを取り替える活動をはじめた。まず、ハンドソープにRSPO認証マークをつける作業をした。私たちの活動目的から、取り替えるハンドソープには、RSPO認証マークが表記されていることが不可欠であった。RSPO認証の商品であるとパンフレットでは確認をして購入してもらったが、実際の商品には認証マークが付けられていなかった。RSPOは先述した通り、生産から販売まで認証を受ける必要がある。商品自体は間違いなく認証を受けた商品であるが、最終の受注販売を行う会社のみが別であったため、認証マークがついていなかったのである。そこで、購入したハンドソープはRSPO認証マークの表記のある製品とどう違うのか、また販売元から購入したハンドソープにRSPO認証マークを表記することはできないのか確認した。販売元はRSPO認証を受けておらず、本来、生産から販売まで認証を受けていなければ、RSPO認証マークを表記することはできない。しかし、生産会社としてはRSPO認証のクレジット対象商品であったため、校内で啓発するならば、RSPO認証マークのステッカーを貼ってもよいという許可が出た。RSPO認証マークのデータをいただき、ステッカーを作成し、確認をとったうえでハンドソープに添付することができた。次に、学校のハンドソープがRSPO認証商品に変更されたことを示すためのポップやポスターの作成をした。ポップやポスターを掲示することで、生徒自身が、日常的にボルネオ島の環境保全に携わっているということを自覚できると考えた。そして、2023年7月末に、学校の各手洗い場所にハンドソープの置き換えとポップやポスターの掲示を行った。

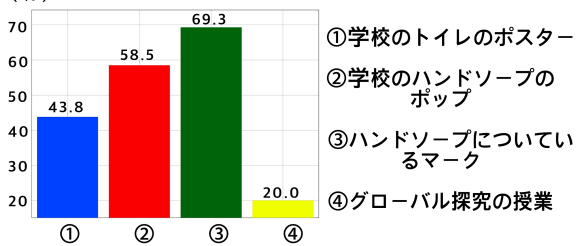
## 3. アンケートの実施

学校にRSPO認証マークのついたハンドソープを設置して約1ヶ月が経ったタイミングで、国際高校2年生と3年生を対象にアンケートを実施した。計214人から回答があった。RSPO認証のハンドソープを使うことで、ボルネオ島の環境問題への意識は高まったのか、高まった場合、どのよう高まったのかを調査した。また、RSPO認証マークについて正しい知識を持っている人はどれくらいいるのかを確認した。その結果を次のようにまとめる。

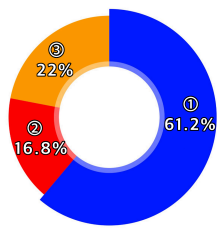
質問1. 学校にRSPO認証マークがあることに気づいたか。



質問2. 質問1で「はい」と答えた人はどこで気づいたか。(複数回答可)

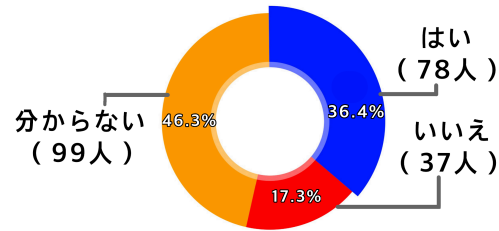


質問3. RSPO認証マークがついた製品にはどのような意味があるか。当てはまると思うものを選びなさい。

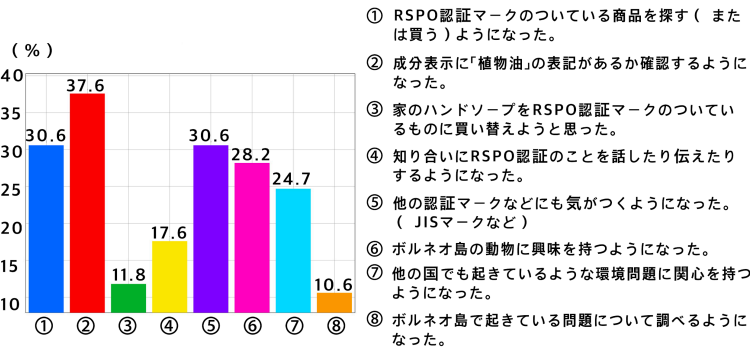


- ① RSPOの認証基準を満たした持続可能なパーム由来原料を使用した、あるいはその生産に貢献した製品であることを示している。(131人)
- ② その製品は、RSPOに認められた農園で生産したパーム油を使用し、収益の3%がプランテーション開拓に使われていることを示している。(36人)
- ③ 「RSPO認証農園保護法」というパーム油の有効な利用の促進に関する条約に基づいた製品であることを示している。(47人)

質問4. 設置したハンドソープやポスター、ポップを通してボルネオの環境問題への意識が高まったか。



質問5. 質問4で「はい」と答えた人は環境問題への意識がどのように高まったと思うか。(複数回答可)



質問1から、アンケートに答えた58.9%が学校にRSPO認証マークがあることに気づいていることがわかる。質問2では、その大半がハンドソープについているRSPO認証マークに気づいている。質問3では、RSPO認証マークがついた製品についての知識を問題形式で問い、61.2%が正解している。RSPO認証については授業で学んだことが記憶に残っていると言える。質問4では、ポップ・ポスターを通して環境問題への意識が高まったかを答えてもらった。結果は、「はい」と答えた人が36.4%、「いいえ」と答えた人が17.3%、「分からない」と答えた人が46.3%だった。質問4の結果から、約40%の人がハンドソープの使用により環境問題への意識が高まったと回答した。このことから、RSPO認証マークのついたハンドソープを実際に使用することにより、生徒の環境問題への意識が向上していると言える。質問5では、①のRSPO認証マークのついている商品を探す(または買う)ようになったという答えが30.6%いたことから、RSPO認証についてのポップやポスターを置いた効果があったと考えられた。

### ・考察

質問2から、学校のハンドソープがRSPO認証の製品であるということに気づいた人の中では、ハンドソープについているRSPO認証マークの存在から知った人の割合が1番高かった。ハンドソープに手をのばす際にRSPO認証マークが目に行くからだと考えられる。また、①の学校のトイレのポスターの割合が1番低く、この理由としては、各トイレの鏡の隣に貼ったのだが、あまりポ

スターが目につかなかったことが考えられる。トイレに入ってから手を洗って外に出るという動作の中にポスターを見るという動作がなく、そもそもポスターを見る人が少なかったということだ。

国際高校で行った今回の取り組みを他の団体が活用することがあるならば、遠く離れたボルネオ島だけでなく、持続可能な未来を目指し貢献することができる可能性がある。

アンケートを行った後、生徒の環境問題への意識をさらに向上させるための活動ができなかった。そのため、これからの活動では校内放送やポスターの掲示箇所を増やすなどして、生徒全体の意識を向上させられるよう行動したい。

#### 4. 結論

この研究の目的は、国際高校で環境に配慮して生産されているRSPO認証マークのついたハンドソープを使用することで、熱帯雨林の保全にもつながるのみならず、生徒の環境問題へのさらなる意識向上を目指すものであった。生徒の環境問題への意識を向上させるために、ハンドソープにRSPO認証マークを貼るとともに、周知のためのポップやポスターを作成し、掲示した。その結果、生徒が日常で使うものをボルネオ島の環境保全に貢献できるものに変えることは、生徒のボルネオ島の環境問題への意識をさらに向上させ、生活の中でもRSPO認証マークを探すようになるなど、さまざまな環境問題へ興味を持つきっかけになるということがわかった。

私たちはこの探究を通して、あらゆる問題について考え、自ら行動することがどれほど大切であるかを考えるようになった。自分たちからたくさんの事象と向き合うことで、大きな問題の解決に繋がるということがわかった。今後は、身の回りや遠くの場所で起きている問題に対して、積極的に行動できる人として、たくさんの人と関わり問題解決に勤しみたい。

#### 5. 参考文献・出典

1.SARAYA「環境への取り組み」,<https://www.saraya.com/csr/env/rspo.html> 参照日:2023.9.12

2.WWFジャパン「認証パーム油を使うには？RSPOへの手引き」  
<https://www.wwf.or.jp/activities/addinfo/1803.html>

3.WWF ジャパン「ボルネオ島の森林保全」<https://www.wwf.or.jp/activities/activity/1369.html> ,  
参照日:2023.10.20